

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
【部門区分】第1部門第1区分
【発行日】平成18年6月1日(2006.6.1)

【公開番号】特開2004-329004(P2004-329004A)
【公開日】平成16年11月25日(2004.11.25)
【年通号数】公開・登録公報2004-046
【出願番号】特願2003-124811(P2003-124811)
【国際特許分類】

A O 1 D 25/00 (2006.01)

【F I】

A O 1 D 25/00

【手続補正書】

【提出日】平成18年4月7日(2006.4.7)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】請求項1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項1】

圃場に植生しているねぎや残幹などを掘り取る掘り取り装置と、該掘り取り装置により掘り取られたねぎや残幹などを根部を露出させた状態で挟持して搬送する挟持搬送装置と、該挟持搬送装置により搬送されるねぎや残幹などからその根部に付着している土を落とす土落とし装置とを備えた農産物収穫機であって、

前記土落とし装置は、挟持搬送装置により搬送されるねぎや残幹などの根部側に配設され、回転しながらねぎや残幹などの根部に直接接触する構成であることを特徴とする農産物収穫機における土落とし装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

【発明が解決しようとする課題】

上記先行技術のねぎ収穫機における土落としロータは、周知の耕耘ロータ状のものであり、また、土落としドラムは、回転ドラムの外周面に多数の突起を設けたものであって、それぞれねぎの根部と直交する回転軸を有しており、また、土の付いた根部に接触させて土を落とすようにしている。このため、使用条件によっては、ねぎの根が回転軸に巻き付くことや、土落としが不十分になる場合があるといった、改善すべき課題があった。そこで本発明は、上記の課題を解決すべく、土落とし装置の性能を向上させて収穫作業能率を向上させるようにした農産物収穫機における土落とし装置を提供することを目的とする。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0005

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記の目的を達成するために本発明は、以下の構成を有すること特徴とする。

A. 圃場に植生しているねぎや残幹などを掘り取る掘り取り装置と、該掘り取り装置により掘り取られたねぎや残幹などを根部を露出させた状態で挟持して搬送する挟持搬送装置と、該挟持搬送装置により搬送されるねぎや残幹などからその根部に付着している土を落とす土落とし装置とを備えた農産物収穫機であって、

前記土落とし装置は、挟持搬送装置により搬送されるねぎや残幹などの根部側に配設され、回転しながらねぎや残幹などの根部に直接接触する構成である。